

2006~2007年度
国際ロータリーのテーマ
率先しよう
2006~2007年度
ウイリアム・ビル・ボイド

Weekly Report

創 立:1980年(昭和55年)1月10日
会 長:遠山 堯郎
幹 事:天野 正明
会報委員長:稲垣 豊
例 会 日:毎週木曜日 PM12:30~
会 場:ヒルトン名古屋
事 務 局:460-0008
名古屋市中区栄1丁目33
ヒルトン名古屋910号
T E L:052-211-3803
F A X:052-211-2623
M A I L:2760nagoya@mizuho.rc.jp
U R L:http://www.mizuho.rc.jp/

第1279回例会

2006年7月6日(木) 晴 第1回

司 会:(高木 勝会場委員長)
齊 唱:「君が代」「奉仕の理想」
ビ ジ タ ー:名古屋RC 富田英之君 他2名

会長挨拶

遠山堯郎会長

皆さんこんにちは、2006~2007年度・ロータリー新世紀2年目の会長を仰せつかりました、遠山堯郎でございます。先ず、最初にお願いがあります。時代の流れで今年も例会場は禁煙をお許し下さい。



1984年7月5日に入会させて頂き、昨日で満22年が過ぎました。この間、いろいろなお役目をさせて頂き、おかげでロータリー活動を通じて多くの出会いができました。そして多くの経験をさせて頂きまして感謝しております。第2760地区への出向は、今年度で5年目になります。今年度は、会長職と、地区新世代副委員長の兼務となりました。

本当に私が会長で良いのかな?と自問自答する日が多くありました。私は、2004年11月25日の歴代会長会、幹事会の指名委員会を欠席しました。その日の夜10時頃と記憶しておりますが、自宅へ帰る途中、大先輩から「金ちゃん、今日は携帯電話の電池が無くなったの?」と言われて、某クラブへお誘いを受けました。話の進めかたがまことに上手でした。「金ちゃん、次年度の会長エレクトに決まったよ!NOはないよ」と言うことで、エレクト指名の話聞いた時は正直なところ驚きましたが、ついに今日が来ました。

私は何事も先走る傾向がありますが、クラブ運営につきましても、水谷副会長・天野幹事はじめ優秀なスタッフを選んで頂きましたので、大海も順調に航海が出来るものと安心しております。残念ながら事情により鈴木幹雄直前幹事が退会されましたが、前年度の守谷会長、多くの役員・理事・委員長はじめ皆様の楽しく有意義なクラブ活動に感謝申し上げます。今年度も瑞穂ロータリーの良き伝統を維持・継続したいと思っております。浅学非才でございますが、ご支援を宜しくお願いします。

私はこの一年間を尾崎一雄の名言「一切の気取りと、背伸びと、山気を捨て、自分はこれだけの者、という気持ちでやろう」で進みたいと思います。どうぞ、宜しくご支援のほどお願い申し上げます。

乾杯

守谷巖樹直前会長

恒例の直前会長乾杯を仰せ付けられました。それでは遠山会長の門出を祝し、また瑞穂ロータリークラブ会員の皆様のご健勝を祈念致しまして、乾杯を致します。乾杯!



バッチ、記念品伝達式

守谷直前会長より遠山新会長・天野新幹事へバッチの伝達、新会長・新幹事より直前会長へ記念バッチの贈呈が行われました。



出席報告

八木沢幹夫出席委員長

会員72名 出席58名 (出席計算人数53名)

出席率83.02%

6月29日は補填により 87.72%

幹事報告

天野正明幹事

- ・7月13日(木)は第1回理事会とCAです。会場は6階「けやき」の間です。「ことぶき」の間から変更になりましたのでご注意ください。
- ・本日例会終了後、歴代幹事会をこの会場にて開きますので、関係各位はお残り下さい。
- ・新しい会員名簿が出来ました。メールボックスに入っています。各位のページをご確認下さい。
- ・地区新世代委員会が7月4日(火)にありました。本年度より地区出向者4名の動向について、逐次ご報告していきます。出向者各位より随時ご報告よろしく申し上げます。
- ・クールビズにてのご出席が可能となっております。気軽な気持ちでご出席下さい。
- ・ビジター優先席を今年から設けました。親睦委員会がご案内申し上げます。臨席の会員はホスピタリティーをよろしく申し上げます。
- ・慣れないことで皆様に何かとご迷惑をおかけすることと思っておりますが、一年間よろしく申し上げます。



臨時例会変更のお知らせ

名古屋西		7/27(木)		
名古屋南			8/2(水)	
名古屋守山		7/26(水)		8/9(水)※
名古屋みなと		7/28(金)		8/11(金)※
名古屋東南	7/19(水)	7/26(水)		
名古屋中		7/24(月)		
名古屋和合	7/19(水)			
名古屋大須	7/17(月)※			8/10(月)
名古屋栄	7/17(月)※			8/7(月)◆
名古屋名南	7/18(火)◇			
名古屋昭和	7/17(月)※			8/7(月)
名古屋西南	7/20(木)			8/10(木)※
名古屋空港	7/17(月)※		7/31(月)	
名古屋清須		7/25(火)		
尾張中央		7/26(水)		
豊山一城北		7/25(火)		

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。

◇はサイン受付時間が17:30~18:30となります。

◆はサイン受付時間が17:00~18:00となります。

尾張中央RC例会会場変更のお知らせ

平成18年7月より下記のとおり最終例会の例会場を変更致します。

徳重ラビィ→名鉄グランドホテル

渥美RC HP開設のお知らせ

このたび半田南RCのHPが開設致しましたのでご報告致します。

渥美RCホームページアドレス

<http://www15.ocn.ne.jp/~atsumirc/>

委員会・同好会報告

職業奉仕委員会:佐藤一郎委員長

各テーブルの上に「4つのテスト」のプレートを設置致しました。折に触れ、復唱頂きご確認頂きたいと思ひます。

親睦活動委員会:内田久利委員長

今年度の親睦例会8月10日に予定しております。今回の予定といしましては、名古屋のテレビ塔4階のレストランを貸し切りにしての開催となります。申し分のない会にしようと計画しておりますので、皆様是非ともご参加下さい。

7月誕生日おめでとう

内田 久利君 入山 治樹君 渡辺喜代彦君
 岩田 吉廣君 布目 徳君 岩崎 道夫君
 鈴木 圓三君 田中 隆義君

ニコボックス

八木沢幹夫ニコボックス委員長

・7月20日は私の誕生日です。 岩田 吉廣君

・7月17日は家内の誕生日です。何歳と聞くのが怖いです。

松波 恒彦君

・7月10日は家内の、25日は私の誕生日です。 布目 徳君

・今月は妻の誕生日です。また、新役員の皆様ご苦労様です。

近藤 洋輔君

・06年度が始まりました。今年度の会長・幹事にご支援とご指導をお願いします。 遠山 堯郎君・天野 正明君

・7月3日、愛西市に新しい病院をオープン出来ました。皆様のおかげです。ありがとうございます。 宗宮 信賢君

・遠山、天野体制の27年目の門出を祝して。今年度もよろしく。

守谷 巖樹君

・本日から会場係です。よろしく願い致します。 松岡 道弘君

・何かの間違いにて7月のゴルフ例会にて優勝してしまいました。

長坂 邦雄君

・しばらく欠席が続きました。

橋本 章君

・1)1年早いですね。新年度です。今年もよろしく!

2)八木沢先生にお世話になってます。永いつき合いになりそうです。

岡村 達人君

・本年、副S.A.Aです。皆様よろしく。

岩根 敬泰君

・本年度は会員増強・退防、会員選考、職業分類、3委員会委員長です。本年度、会員増強のご協力お願い致します。遠山会長、天野幹事、健康に注意して頑張ってください!!

稲葉 徹君

・遠山執行部の門出を祝して。

吉木 洋二君

岩本 成郎君

鈴木 圓三君

高木 勝君

長瀬憲八郎君

内田 久利君

田中 隆義君

水谷由紀夫君

本多 清治君

増田 盛英君

高村 博三君

山田 鎮浩君

近藤 雄亮君

森 真佐雄君

稲垣 豊君

大和 哲郎君

嶺木 一夫君

野崎 洋二君

小串 和夫君

中川啓二郎君

松井 善則君

高須 洋志君

森 恒夫君

倉澤 寛君

宇佐美貞夫君

瑞穂ロータリークラブ今年度活動方針

遠山堯郎会長

今年度のRI会長について

今年度会長のウィリアム・ビル・ポイド氏は、現在、バンクランガ・ロータリークラブの会員です。全国腎臓財団および知的障害者協会のRI代表、青少年指導者およびボーイスカウト公認指導者も務めるほか、31年間ラグビーの審判としても活躍されておりました。



ポイド氏と夫人ローナさんは、現在オーランドに在住、2人の息子さんと2人の娘さん、そして10人の孫に囲まれているそうです。少子化問題を抱える日本人は見習うべきことです。娘さん、そして10人の孫に囲まれているそうです。少子化問題を抱える日本人は見習うべきことです。

今年度のRI会長のテーマについて

「率先しよう」親睦と奉仕を通じて明るい未来をもたらすために120万人のロータリアンが力を合わせて率先していく

(1) きれいな水がなければ、ほとんど何もできません。水がなければ、作物を育てることもできません。安全な飲み水がなければ、子供の健康を守ることはできません。子供たちが水感染の疾病に冒されたり、何マイルも歩いて井戸まで水汲みに行く日課を強いられる限りは、通学もままならず、識字率の向上は望めません。喉が渇いていれば他のことなどは何もできません。そこで「水保全」が強調事項です。

(2) 飢餓は世界中が抱える大問題です。毎年、1,100万人の子供が飢え死にしており、そのほとんどは開発途上国の子供たちです。70%は予防可能な病気で死に、その主な死因は栄養失調と水感染の疾病とされています。食料なくして、健康はあり得ません。また、健康なくして希望をもつことはできません。そこで「保健と飢餓」が強調事項です。

(3) 貧困を免れるただ一つの道、それが識字率の向上です。RI会長は実家が本屋さんだったこともあり、識字を特に大切に考えてこられました。識字力がどれほど大きく家族や地域社会を変える力を持っているかを示す例を数知れず見てこられたからようです。識字力こそが、貧困の連鎖から逃れる道と考えられています。識字は地域社会が水資源や保健と飢餓の問題に取り組み、次世代の教育をすることを可能にします。識字は目標であると共に、初めの一步です。そこで「識字率向上」が強調事項です。

(4) ロータリアンは数週間先、数ヶ月先、数年先といった将来ではなく、何十年先をも考えなければなりません。私たちが去った後に、私たちの席につくことになるのは、若いロータリアンです。若き職業人として、親としての子育ての義務をも背負っており、仕事と家庭に奮闘している人たちです。一流のホテルで食事をするのも結構な行事かもしれませんが、代わりに週末にバーベキューなどで奉仕プロジェクトを行えば家族全員が参加できるばかりかコストも抑えることができます。浮いたお金は他のニーズに使うことができます。そこで家族と共に活動を考える「ロータリー家族」運動が強調事項です。

第2760地区：斉藤直実ガバナーのテーマ

原点回帰 — その精神(こころ)を受け継ぎながら —

斉藤ガバナーは病院長ですが非常に苦勞された方で、人の心の痛みが判る方だと信じます。

今、世界中でロータリークラブは内部分裂が起こっていると言われてますが、元気のよいこの地域も例外ではありません。ここ数年で一部のメンバーがクラブから去っていきました。急すぎる拡大と無理な増強のせいでしょうか？ふくれあがるグローバルなプログラムのせいでしょうか？ロータリーの第2世紀を歩みだした私達は、改めて自分たちの足元をみつめ直して内部崩壊をくい止めなければなりません。そのためにロータリー100年の歴史を学び、ロータリーの精神を、クラブ運営の原理と細則を、改めて確認することが大切です。万博及びロータリー館は大成功に終わりました。ポリオプラスという人類愛の巨大なプロジェクトもいよいよ終焉をむかえようとしています。やっと、ロータリーの日常性がもどってきました。クラブ奉仕を軸にしたロータリー論を語る一年にしましょう。

- (1) クラブ奉仕に徹しよう。
- (2) ロータリー財団・米山記念奨学会への協力
- (3) ロータリーを学ぼう

名古屋瑞穂ロータリークラブの活動計画

瑞穂ロータリークラブは30周年に向けて走り続けています。今年度地区ガバナーが仰せの問題は、我がクラブも例外ではありませんが、創立1980年以来、歴代会長・幹事そして役員と会員の皆さまのおかげで、発展をして参りました。RCは、当該年度のRI会長テーマ、地区ガバナーの方針のもとに、それぞれのクラブが独自性を持った活動をいたしますが、一番基本になりますのは、ロータリーの綱領と4つのテストであります。

- ① 奉仕を機会として知り合いを広めること。
- ② 事業および専門知識の道徳的水準を高めること：あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。
- ③ ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
- ④ 奉仕の理想に結ばれた事業と専門知識に携わる人の世界的親交によって、国際間の理想と親善を推進すること。

であります。そして、4つのテストでもあります。今年度も、これらを念頭におきまして活動をして参りたいと思います。

RI会長の「率先しよう」地区ガバナーの「原点回帰」は、2世紀目にはいりましたRCが、原点回帰して率先しよう！まことに時代に合ったテーマだと考えます。今年度の活動計画として、欲張りではありますが、次の9つを掲げさせていただきました。

(1) 貴重な一時間、有意義な例会づくりへの挑戦

最近の例会の運び方を考えてみますと、ゆとりがなくなっています。なぜか、時間に拘束され過ぎています。途中退席や、私語も気になります。紳士としての、或いは、ロータリアンとしての自覚を改めて求めたいものです。美味しい食事に会話、そして価値ある卓話は、ロータリアンにとって最も基本的かつ、大事なプログラムです。会場委員会とプログラム委員会に汗をかいていただき、魅力ある例会に仕立て直したいと思えます。また、同時にS・A・A、副S・A・Aの会場監督としての役割を発揮いただく様、配慮したいと思います。

(2) 例会のほかに、ロータリアン、又その家族との親睦会・旅行などを計画し実行

瑞穂ロータリーは、27年目に入りました。秋の家族会、クリスマス会、春の家族会などなど、毎年多くの持出し例会や、夜間例会を開催してきました。家族会の旅行に例会をつけると、近郊では行く処が少なくなりました。試行年度として、例会と親睦を切り離して会員が楽しめる、家族と一緒に楽しめる旅行などを親睦活動委員会にお世話を願って計画したいと思います。

(3) R財団・米山奨学への協力と、新世代育成のための継続事業の検討と実行。

RIから、年間100ドルの拠出を要請されています。これは協力すべきと考えます。

瑞穂ロータリーは、先ずは年間60ドルで予算の策定をいたしました。また、米山奨学への協力も従来と同様にロータリアンの責務と考えます。次に考えることは、瑞穂ロータリーが独自に新世代の教育について考え継続して行く必要性を考えています。

例えば、ウガンダに建設した学校の追跡と識字率向上の援助や水の援助。また、過去に米山奨学生が期限内に博士号が取れなくて、米山奨学会からの援助が打ち切られたことがありましたが、瑞穂ロータリーの援助で博士号を取得出来た経緯があります。現在までは、この様な場合、ニコボックスより拠出していますが、私は当クラブのより積極的な姿勢として、会員総ての意思としての基金を設立し、①理事会承認だけで自由に活用できる、②お金の行く先が見える、③奉仕出来たという実感のある、④奉仕先と永くお付き合いが出来て、会員と様々なレベルで交流が生まれる、仮称「新世代育成基金」(瑞穂基金)の検討と実施を考えたいと思います。地区内クラブに模範がありますので、長期ビジョン委員会が中心となって検討して頂き発足したいと考えています。

(4) 環境保全の継続事業の見直しと、CO2削減協力を検討し具体化して実行。

92～93年度で開始した、熱田神宮でのホテルの育成と放流は、現在のところ、一部の会員にはすっかりお世話になっています。会員以外では熱田神宮さんにご無理をお願いされている状況です。当初は、熱田の森の環境の一部を破壊してせせらぎを作り、ホテルの育成事業に入りました。熱田神宮さんとの契約は07年6月まであります。今年度は長期ビジョン委員会と社会奉仕、環境問題委員会にて、この継続事業について見直しを検討して頂きたいと思えます。

次に、京都議定書によるCO2は全く減る傾向にありません。自然エネルギーの普及に向けて一般から寄付を募り、電力会社が同額の寄付をして太陽光発電などの普及に寄与する仕組みがあります。グリーン電力基金といえます。9電力のエリアに対応していますが05年、愛・地球博を開催した地元中部の寄付金が4月末現在全国最下位であります。運営事務局の(財)中部産業活性化センターは、環境保全意識の浸透をテーマに、中部電力に対し一部社員に協力義務化を要請するとともに、今年度より地区内のロータリークラブなどの奉仕団体にグリーン電力基金への協力を申し出ています。残念ながら、地区内においても、瑞穂ロータリークラブでもCO2削減の目玉商品がありません。瑞穂ロータリーが率先して、今年度をスタートとして、長期ビジョン委員会や社会奉仕委員会、理事会でCO2削減の協力への検討と具体化と実施検討をお願いしたいと思います。

(5) 姉妹クラブ・台北延平ロータリーの30周年式典に参加と記念事業に協力。

瑞穂ロータリークラブは今年度で、台北延平ロータリーと姉妹クラブ締結20周年になります。また、台北延平ロータリークラブは30周年を迎えるので、国際奉仕委員会が主になっていただいて式典への参加と、記念事業への協賛をしていきたいと思えます。延平ロータリークラブの記念事業は、内容については未だ決定していないようですが、06年10月実行、07年1月に完了して、それを検証する工程を考えておられるようです。瑞穂ロータリーとしては台北延平ロータリーと随時、協議を重ねて参りたいと思えます。皆様のご理解と協力を宜しく願います。

(6) 長期ビジョン委員会で「クラブテーマ」を作成。

それぞれの会社には、「社是」とか「社訓」があります。瑞穂ロータリークラブも既に四半世紀の歴史を積み重ねて参りました。原点に帰ろうという今年度、「瑞穂クラブとはどんなクラ

ブなのか、他所とはどこが違うのか、これからどう進んでいくのか」などなど、26年間の伝統を踏まえつつ、未来への展望を考えてみたいと思います。丁度、30周年という大きな節目も目前に迫っています。この節目を記念事業など対外的な一過性のイベントだけに終らず、会員の参加意欲を継続的に掘り起こし、次なる飛躍へと繋げていかなければなりません。そこで、永くクラブの求心力となる「瑞穂RCの気風と活力を象徴するクラブテーマ」の作成を長期ビジョン委員会に付託したいと思います。熱田神宮が我がクラブの誇りであると同様に、クラブテーマの存在が会員皆様にとって、心の、そして友情の拠り所となれば素晴らしいとおもいます。従いまして、今年度のクラブ計画書には「会長年度テーマ」を省かせて頂きました。ご理解を賜りたいと思います。

- (7) 長期ビジョン委員会で「会員増強のための新たな挑戦」を検討。長期ビジョン委員会にて、退会された会員の子弟、中途退会者の入会勧奨などの方法を検討していただき、会員増強委員会にて実行に移して頂きたいと思います。また、青年会議所、若鯨会の卒業者など、会員各位のお知り合いを是非ご紹介して頂きまして純増目標は、3人を達成したいと思います。
- (8) RI会長賞への挑戦
2007年3月までに、会員増強・クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の5分野から、それぞれ一つの活動を遂行して、RI会長賞に挑戦したい。
- (9) 地区出向者について
06年度はおかげさまで、私を含めまして4人の地区出向者を受け入れていただくことが出来ました。07年度につきましては2～3名の増強を計りたいと思います。

最後に委員会の個別開催や懇親会：本音の付き合い：
クラブ内の組織の縦、横の風通しをいつも良くしておくことが大切だと思います。会員一人ひとりが、もっとお互いに声をかけあい、気持ちを通じあわせ、価値観を共有することがクラブの組織力を最大限に引き出すことにつながると思います。原点に帰るといふ今こそ、会員同志が「本音で付き合う」ことが過去にも増して必要な時であり、それがお互いの信頼につながり、クラブの活力に成って行く信じます。委員会や奉仕カテゴリー単位のみならず、例えば、新人歓迎会や気楽な少人数での「飲み会」など新鮮な発想によるメンバーの会を親睦活動委員会に知恵を出して頂いて企画したいと思います。

ロータリー・ワールド

退会防止に取り組む試験的プロジェクト

会員をしてロータリーにとどまっていきたいと思わせる要素は、果たして何でしょうか。この質問の答えを見出そうと、退会防止試験的プロジェクトに参加しているのが全世界102のクラブです。2003年に開始されたこのプロジェクトは、6月30日をもって終了する予定です。参加クラブは、適切な会員候補の特定と勧誘、オリエンテーション、入会式、新旧両会員の継続的教育に関する指針に従うものとされています。昨年10月に集まった53クラブの代表は、会員増強・退会防止委員会のリーダーならびにRI会員増強部職員との会合において、問題点について討議したほか、成果を挙げている退会防止活動について発表し合いました。参加者からは、定期的な会員満足度調査とニーズ査定を実施し、その結果を基に改善すべき点を改める他、会員に自分たちの関心事について発表してもらったり、会合の後に隔月でコンサートや映画会などを催したりしたらどうかという助言がありました。参加者はまた、指針に従い、クラブ、地区、RIの情報を全会員に伝えることの重要性を強調しました。米国イリノイ州にあるバーリントン朝食ロータリー・クラブの会員、ジョン・メイヤーさんによると、同クラブでは、「大切なことは何か、活動状況はどうか、改善すべき点は何か」を明らかにするために、「退会会員アンケート」を用いているということです。アンケートの結果に基づいて、クラブは例会の見直しを行いました。他に役立つ資料として、新会員の教育に使用でき

る「ロータリーの基本知識」(595-JA)や、移転する会員の情報を移転先の地域社会に存在するクラブへ提供するための「ロータリアン移転書式」(Rotarian Relocation英語)などがあります。これらの資料にあわせて、評価に役立つその他の資料や支援源もwww.rotary.org/languages/japanese/からダウンロードすることができます。会員の継続的な参加を促すカギは教育にあると、クリス・オファー会員増強・退会防止委員会副委員長は言います。「入会前からロータリーについて教えられ、入会後に適切なオリエンテーションを受けた新会員は、日ごろからクラブがロータリー教育を提供し続けていれば、クラブにとどまるものです」(2005年6月30日現在、参加クラブは平均会員維持率83パーセントを誇って最低53パーセントから最高100パーセントまで)。

エジプトとニジェールがポリオ蔓延国から外れ、残るは4国に

エジプトとニジェールは、原生ポリオ・ウィルスが12カ月以上蔓延していない事実をもって、世界ポリオ撲滅推進計画においてポリオ蔓延国ではなくなったことが最近宣言されました。

これで蔓延国は、これまで原生ポリオ伝染の阻止に成功していないアフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタンを残すのみとなりました。発表によると、ポリオ感染地域において、今年から単価経口ポリオ・ワクチンが使用されることになりました。第1種と第3種のポリオ・プラスを駆逐するために、個々のウィルス株に有効な単価ワクチンが使用されます。「ポリオは我が国において長い歴史を持つ風土病でした」とエジプトのハテム・モスタファ・ELガバリ保健大臣は述べています。「しかし、現代の最先端の手段によって、古代エジプト王朝時代から私たちを苛んできたポリオにうち克つことができたのです。」

エジプトやニジェールでの成功は、アフリカでのポリオ蔓延を駆逐すること、ならびに特別な地域を対象とした単価ポリオ・ワクチンを迅速に導入するという2004-05年度の集中的な活動の結果です。効果的な予防接種策や単価ワクチンの使用により、2005年第4四半期のインドとパキスタンのポリオ症例数も、前年比で半数以上減少しました。

これらの新たな手段の効果を十分に引き出すためには、ナイジェリア政府があらゆるレベルにおいて尽力し、すべての児童が予防接種を受けることができるようにしなければなりません」とナイジェリア、カノ出身のジョナサン・マジアベ元RI会長は語ります。ナイジェリアのポリオ症例の90パーセントは、全国37州のうち8州のみに集中しています。

発表によると、残る4つのポリオ蔓延国での大規模な予防接種に加え、今年は、単価ワクチンを使って、ポリオ・ウィルスが飛び火した8国において、一大推進計画を実施する必要があるとされています。

ゴルフ例会

7月例会(280回)

7月4日(火) 於：三好C.C

参加者10名

(敬称略)

		OUT	IN	GROSS	H'CP	NET
優勝	長坂 邦雄	46	47	93	22.8	70.2
2位	稲垣 豊	43	37	80	9.6	70.4
3位	本多 清治	44	43	87	15.6	71.4
4位	堀 慎治	37	39	76	3.6	72.4
5位	田中 政雄	49	49	98	22.8	75.2

快晴の中、本年度を締めくくる第280回ゴルフ例会が三好C.Cにて開催されました。優勝は長坂邦雄君、取り切り戦の優勝は堀 慎治君でした。プレー終了後、桃花源にて総会、ならびに懇親会が行われ、和やかな中、終了しました。来年度も本年度以上に、会員皆様のご協力をお願い致します。

今週卓話

7月13日(木)

会員卓話：足立謙祐君
テマ：「大和とその戦歴」

次週卓話

7月20日(木)

第1回CF(決算・予算)